

既存ドアの既存枠利用 【集合住宅玄関ドア ホテル客室ドア】簡易式付け枠工法による改修のご提案

こだわりのリノベーション『簡易式付け枠工法』は新たな付加価値を提案して安価でお客様の満足を創りあげます。

「リノベーションマンション」とは？普通の中古マンションと何が違うのでしょうか？普通は、劣化してしまった部分の修理、交換が主な内容です。要するに「リフォーム工事」のことです。新築時になかった新しい機能をプラスして資産価値をグンと上げ「リノベーション」で理想のマイホームが手に入り、賃貸住宅は入居率のアップにもつながります。

既存ドアの既存枠利用 リノベーションの『簡易式付け枠工法』

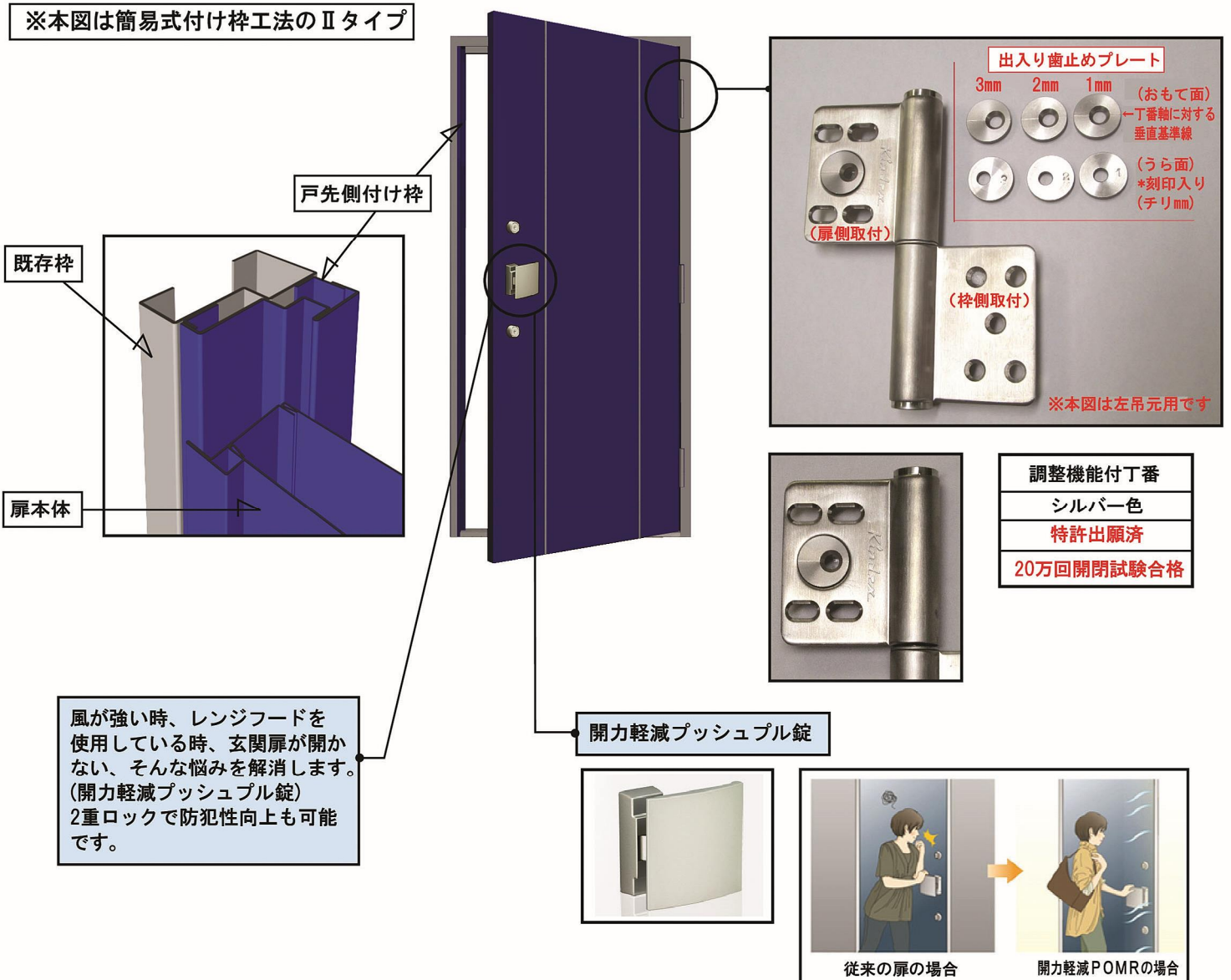
新規取替内容 扉本体・戸先側付け枠・調整機能付丁番・プッシュプル錠、DC、気密ゴム

■開口寸法減

W **-18mm**

H **±0mm**

※本図は簡易式付け枠工法のⅡタイプ



既存枠

戸先側付け枠

扉本体

出入り歯止めプレート

3mm 2mm 1mm (おもて面)
←丁番軸に対する垂直基準線
(うら面)
*刻印入り (チリmm)

(扉側取付)

(枠側取付)

※本図は左吊元用です

調整機能付丁番

シルバー色

特許出願済

20万回開閉試験合格

開力軽減プッシュプル錠

風が強い時、レンジフードを使用している時、玄関扉が開かない、そんな悩みを解消します。(開力軽減プッシュプル錠) 2重ロックで防犯性向上も可能です。

従来の扉の場合

開力軽減POMRの場合